

第5版:2008.09.04



# 目次

. はじめに
ニューライセンスパック5
データの互換5
HASPについて
システム機能
ルックアンドフィール
スプラッシュウィンドウ7
タブメニュー
タブグループ
カラー選択ダイアログボックス9
GPSモニタ
バックアップ機能の強化10
セキュリティ機能10
アカウント制御11
[プロジェクトエキスパート]-[署名]パネル12
リレーション時のオプション設定12
マプコンホームページ ヒントへのリンク
ツールヒント表示用 DLL (PcmRefGuid.dll)13
FUN ステータスバー PcmStatusBar.nai13
JavaScript (JScript)
色覚調整(LMS設定)14
連続変数の等級分類(個別色)によるカラー設定15
[作業データも圧縮して生成]オプション15
デフォルトの座標系設定15
直ちに印刷設定して印刷(スナップショット)16
アクティブタブでの閉じるボタン16
アンチエイリアス効果(文字)に、「縦書き文字に代替手法を適応する]16
アナログ時計の表示 (クイックバー)17
ブックマークから「初期位置設定」17
[操作2]オプション
№タイトルのファイルパス
▶ Virtual Earth Mapバーに検索機能追加
▶ 16Bit階調TIFFファイルインポートオプション
SXF、DXFデータ等のインポートでの文字表現の再現向上
▶ ディスプレイの換算方法
▶ 【表示モード】の【標準ヘコピー】ボタン19
▶ Z値の少数桁
▲属性照会時のフォーカス制御に関するPcm.iniの仕様
▶ マウス押下時のモード
込むすプション -prmuserdir
▶ クイック属性照会のフィールド名併記
Weight L → L → L → L → L → L → L → L → L → L
▶◎電子国土ヒューア(ハー)
レイメージデータ
ハーン シノーン イメージの炉集機能 (抗張ODから 博進メニュール) 22
イメージの榊未做能 (拡張OFから標準メーユー)し/
イメージ休任时のオノジョン設定
IIFF JFEGダイ ノ6への刈心
イメーンの統合・冉慎成 (拡張OPから標準メーユー化)
1 ンテックスカフー画像のハレット設定
イメージの切り出し
イメーンの合わせ込み変換
育 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
育景ビクチャーイメージの座標補止
Mind イメーシワイントワでのタイトル表示
▶┉ ファイル名にメッシュコード、DM凶郭コード

Ⅱ|システム機能 |II| イメージテータ |V| ベクタテータ <u> 
レ</u> | データベース

I はじめに

「マー解析機能」「ワーロ副機能」

11 インポート 11 エクスポート

# 目次

マシ	クタデータ	
	シング シーシー シート・シート	20
	調理ビリビルを廃止	20
	レイヤ描画設定	30
	シンボル描画についての仕様変更	31
	ちょうしん しん し	31
	お / 1 / / / ーー 背景ピクチャーの位置・サイズ指定	32
	ズームボックスビュー	32
	背景ピクチャーに「他のプロジェクトのビュー」	33
	簡易作図ツール 「E シェイプ」	33
	ビューモードの設定	34
		34
	ジオコーディングウィンドウ	34
	[属性照会]ダイアログボックスでの座標リスト	35
	リンクフィールドの一括追加	35
	フィールド値のリストアップ	36
	固有属性転記 オプション	36
	属性転記 オプション	36
	ポリゴン生成 オプション	36
	作図時の座標指定 オプション....................................	37
	カラー選択ダイアログボックス	37
	ダブリ点表示	37
	PC-MAPPING プロジェクト統合ファイル	37
	アーク代表点の表示状態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
	Eシェイブメニューの追加	38
	里 金(ちようしよう) 猫 画 磯 能	39
	ヘクダンンボルの異方(縦傾独立)サイス変更	39
	ホリコン合併・分割一括処理	39
	「座標のゆらざを収取させる」オブンヨン(父鳥・ダブリアーク)	40
	Negar 毎かほはったら	40
	○○一時の一時の「「「「「」」」」「「」」」」「「」」」」	40
	■■L属は照去」「LCのレイヤを削泉に」小グン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
		4 I // 1
	■ ステホックス Jと田 し 禄の グークス ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41 //1
	■ 「「((ニタルパワワア)と保険アフラゴー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
		42
	■ 「「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	42
	■「「アークから交差するアーク」の処理	42
		• -
V. デ-	-タベース機能	
		43
	ジオコーディング機能(住所フィールドの分解・整形)	43
	ジオコーディング機能(ジオコーディングによるポイント生成)	44
	属性データベース保存時オプション	44

- ノクヨー ノインノ吸肥 (ロルノイ・ルーの)カ肝	
ジオコーディング機能(ジオコーディングによるポイント生成)	44
属性データベース保存時オプション	44
フィールド値のリストアップ	45
ランキングフィールドの<自動設定>	45
「チャート型」フィールド ファクター自動算出	45
データベースの集計・統計処理	46
ソート(並び替え)・検索条件の保存	46
「カラー型」フィールド カラーモード	47
「BLOB (Binary Large Object) 型」フィールド	47
BLOBデータの展開	47
▶ フィールド照合・転記	47
 フィールド名表記高	48
集計・統計処理	48
ὦ  図郭コードのベクタ(ポリゴン)変換	48
	49
凾] ゚゚データベースのグリッド表示	49
	49
	50

I はじめに

X エクスポート

# 目次

VI. 解析機能	
領域検索	1
ランダムポイントからのメッシュ生成5	1
カーネル密度推定法による密度地図作成5	2
断面図ウィンドウ	2
広域ネットワーク検索5	2
方向ベクタアーク	3
傾斜パスルート選定5	3
アーク縦横断解析	4
アーク縦断図	4
断面図ウィンドウ更新5	5
表示領域検索	5
VirtualEarthMapバー	5
▶ 標高メッシュのグラデーションカラー設定5	6
▶ 凾 画像ファイル (属性フィールド) から背景ピクチャーへ変換	6
▶JPEG ファイル (属性フィールド)への位置座標付与5	6
💀 [表示中心領域をGoogle Mapsで閲覧]、[表示中心付近を電子国土で閲覧] 5	6
💀 ポリゴン体積算出	7
▶ 断面図生成時のZ値の案分計算	7
௸OpenGLのアナグリフ5	7

#### VII. 印刷機能

はめ込み印刷	58
印刷設定のファイル保存	59
印刷枠の設定	59
はみ出し印刷	60
メッシュポリゴン印刷	60
クイック印刷でのスケールバー表示	61
印刷登録設定・呼び出し	61
▶ ビットマップ出力設定のワールドファイル	62
▶ [矩形ポリゴンによる連続印刷]でのビットマップ出力	62
▶️[画像に合わせて養子の縦横を変更する]オプション	62

#### VIII. インポート機能

グレースケール画像形式のメッシュデータ	 3
国土数値情報(JPGIS準拠データ)	 4
MAPPLEデジタル地図データ(昭文社)(拡張OP).	 5
GISMAPデータ(北海道地図)(拡張OP)	 5
➡GPS情報付きのJPEG	 5
ArcViewシェイプファイル分割変換	 6
▶ ▶ 基盤地図情報のインポート	 6
│ ┣ֲ͡͡͡ DMインポート	 6

#### IX. エクスポート機能

67
67
68
59
59
70
70
71

VII 日副機能

11 インポート

X エクスポート

# I.はじめに

#### ニューライセンスパック

PC-MAPPING Ver.7のインストールCD-ROMには、旧バージョンの後続となるPC-MAPPING Ver.6.5 が同梱されています。 専用システム等を構築されていて、そのメンテナンスまたは Ver.7 への移行までの期間は

マークション ション マークション マークション マークション マークション Ver.6.5 をご利用ください。

Ver.6.5につきましては、従来のVer.6\*\*と完全互換製品となっておりますが、製品及びサービスの提供は保守がメインとなり、機能追加に関しましては Ver.7 での対応となります。

関連ページ PC-MAPPING Ver.6 製品ライフサイクルと次期バージョンについてのご案内 http://www.mapcom.co.jp/vup/life.htm

#### データの互換

旧バージョンとのデータの互換(プロジェクト/データベース/イメージ)は以下の通りとなります。

保存	Ver.5.7	Ver.6.0	Ver.7.0
Ver.5.7		×	×
Ver.6.0	0		×
Ver.7.0	0	0	

#### HASP について

PC-MAPPING HT Ver.7の HASP で動作するライセンスは以下の通りです。

- PC-MAPPING Ver.5.7
- PC-MAPPING Ver.6.\*\*
- PC-MAPPING Ver.6.5\*\*
- PC-MAPPING Ver.7.\*\*

※ Ver.5.7 及び Ver.6.\*\* のインストール CD は、Ver.7 には同梱されません。 ※ Ver.5.7 及び Ver.6.\*\* は、動作はしますが、製品の保証はありません。

[ヘルプ]-[バージョン情報]から表示される[バージョン情報]ダイアログボックスに、ご利用のHASPに期限情報がある場合はその期限を表示します。

また、HASPの期限の30日前、20日前、15日前、10日前、および、7日以降は毎日、起動時に警告メッセージが表示されます。

VII

印刷機能

VШ

インポート

**IX** | エクスポート

I

ーはじめに

# II. システム環境

#### ルックアンドフィール



はじめに

Π

#### スプラッシュウィンドウ

起動時に一定時間表示された後消えるウィンドウを「スプラッシュウィンドウ」と呼んで います。

Ver.7では、これまでのイメージファイルに 加えて MacroMediaFlash のswf ファイル を指定し、スプラッシュウィンドウとして表 示させる事ができます。

#### [ファイル]-[システム環境]-[システム環境設

**定**]の[ルックアンドフィール]パネルで設定を 行います。

「スプラッシュウィンドウを表示する」に チェックを入れると[ファイルを開く]ダイア ログボックスが表示されます。

「ファイルの種類」から「MacroMediaFlash ファイル(\*.swf)」を選択し、SWFファイル を指定するとスプラッシュウィンドウ表示 ファイルとして登録されます。





タブメニューを追加しました。

これまでタブをクリックする事でウィンドウを 切り替える事はできましたが、ウィンドウを 閉じる際には[ファイル]-[閉じる]メニュー、 または、右上の<×>ボタンをクリックする 必要がありました。

Ver.7ではタブ上でマウス右クリックをする とポップアップメニューが表示され、右上の <×>ボタン以外からもウィンドウのクローズ、 また、「ルックアンドフィール」で『Office2007 シリーズ』を指定した場合は、後述の「タブ グループ」への移動や新規グループ作成など、 様々なメニューが実行できます。



はじめに

Π

印刷機能

IX

エクスポート

VII

7

#### タブグループ

「タブグループのMDIウィンドウ」、「タブのスタイル」 が追加されました。



■ [ファイル]-[システム環境]-[システム環境 設定]の[ルックアンドフィール]パネルで設 定を行います。

プルダウンから「タブグループの MDI ウィ ンドウ」を選択すると、タブをマウス右ク リックすると表示される「タブメニュー」で [水平/垂直タブグループの作成]が実行で きるようになります(ただし、[ウィンドウ]メ ニューの「重ねて表示」「上下/左右に並べ て表示」が使用できなくなります)。

「タブのスタイル」も別途選択できるように なりました。

従来の「ワークブック(タブ付き MDI ウィンドウ)」とは異なり、タブ付きウィンドウごと グループ化できますので、タブウィンドウの数が多いプロジェクトの場合はグループにしてお くと、タブクリックで切り替える時も分かりやすくなります。



==== ←従来の「ワークブック」を利用した例。 [ウィンドウ]-「左右に並べて表示]から、ウィンド ウを左右に並べることができますが、タブはグ ループ分けすることができません。

垂直タブグループ

-6Hz

3 2

□□□□□□□ 垂直タブグループ

C Q

8

「タブグループの MDI ウィンドウ」を利用した例。→ 「垂直タブグループ」を作成し、属性データベース とベクタのウィンドウを分けて左右に表示して います。



はじめに

Π

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート



#### <u> バックアップ機能の強化</u>

PC-MAPPINGにおけるデータのバックアップには、[ファイル]-[バックアップ保存]や[プ ロジェクトエキスパート]-[リビジョン管理]などがありますが、「システム環境設定」にお いても新たなバックアップ機構を設けました。

マウスホイール

自動バックアップ

☞ イメージのアンドウ

スクロールバーなどによる移動量 移動量(小) ラインスクロール

リンクリックビの拡大・縮小の割合

10 🧾 (%)

□ 作図時などにおける自動センタリング機能
 □ 細い矩形ラバーバンドを使用 クロフ

0 はウィンドウズの規定値となります

▼ (局性照会など)半透明ウィンドウを使う

アンドウ時の表示領域 そのままく何もしない データベー人のアンドウ 1つのデータベー人あたり 50 回 まで使用する

こみ箱のフロバティ

オプション ローカル ディスク (0:) ○ ドライブことに構成する()

全ドライブで同じ設定を使う(リ)

▶ 削除の確認メッセージを表示(D)

ルックアンドフィール 表示と印刷 操作 操作2 ドッキングバー

25 🧃 (%)

移動量(大) ページスクロール

200 🧃 (%)

拡大・縮小に使用

---- 自動バックアップしない

ベクタデータのアンドウ 1つのブロジェクトあたり 6U 回 かつ、 16 MB まで使用する

1つのイメージデータあたり 50 回 まで使用する

1

ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す(B)

10%

OK

ごみ箱の最大サイズ (各ドライブの割合)(M)

マウスドラッグと判定されるまでのボタン押下時間 500 31 シリわ ベクタウィンドウでマウス静止と判定されるまでの時間 0 夏 別秒

[ファイル]-[システム環境]-[システム環境] 設定]の[操作]パネルに、「上書き保存に際して、 (可能であれば)上書きされるファイルをゴミ 箱に収納する」オプションを追加しました。 このチェックボックスにおけるバックアップ は、プロジェクトやイメージ、データベース の上書き保存などで有効です。

▶ 上書き保存に際して、(可能であれば)上書きされるファイルをゴミ箱に収納する ※ただし、ファイルサイズが大きすぎてゴミ箱に収納 できない場合([ごみ箱のプロパティ]で設定したサ イズよりも大きくなった場合)は古いものから削除 されます。また、Windows の設定で「シャットダウ ン時にごみ箱を空にする」等設定されている場合も 同様に注意して下さい。

ヒント集

バックアップについて http://www.mapcom.co.jp/support/hint/other/hint14.htm

#### セキュリティ機能

従来の[ファイル]-[システム環境設定]の [セキュリティ]パネルは廃止されました。 新設された[ファイル]-[システム環境]-[ア カウント制御のポリシー設定](コマンド: AccPolicy)から表示される[アカウント制 御・管理ポリシー]ダイアログボックスでセ キュリティの詳細な設定が行えます。



「アカウントを作成して、これによる制御・管理を行う]チェックボックスがONの場合、

● PC-MAPPING 起動時 ●アイコン状態からの復帰時 にパスワードを要求するよう設定が行えます。 ※この機能は「アカウントを作成して、こ

れによる制御・管理を行う]チェックが



OFFの場合はご利用になれません。 また、[「最近使ったファイル」を終了後クリアーして保存しない]チェックをONにしておく と、PC-MAPPING終了と同時に[ファイル]-[最近使ったファイル]に履歴を残しません。 ※この機能はアカウント設定がなくてもご利用になれます。

V | データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

エクスポート

はじめに

Þ

スクロール領域マージン

OK 🐧 キャンセル 🎼 ヘルブ

キャンセル

□ ペン(1ボタンマウス)コンピュータサポート

クロスヘアーカーソル 線幅(ピクセル) 1 👤

200 📑 (%)

•

•

Ŧ

? ×

#### アカウント制御

あらかじめ権限を設定されたアカウントでログインする事で、データの表示制御や編集・ 更新などの作業内容に対して制限を付ける事ができます。

[ファイル]-[システム環境]-[アカウントリスト **の管理・更新**](コマンド: AccList)から表示 される[ユーザ権限の管理]ダイアログボックス で、アカウントとパスワード、権限のレベル を設定します。

このダイアログボックスで、[パスワードを明示 する]チェックがOFFの場合、パスワードは 「\*\*\*\*」と表示されます。



また、〈エクスポート〉ボタンを押すと[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されま すので、ファイル(\*.pcmacc)として保存する事が可能です。

ヒント集

#### アカウントの制御と管理

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/other/hint16.htm

#### 【権限レベルの種類】

属性

アカウントには以下の権限レベルが設定できます。

0	権限なし	弱
1	ゲスト	Ļ
2	ー般ユーザ	Ļ
3	パワーユーザ	Ļ
4	管理者	Ļ
5	開発者特権	強

これらの権限と、各レイヤ・各属性フィールド毎に設定さ れた権限によって、例えば変更を許されていないゲストレ ベルでログインしたユーザには作図メニューが一切利用で きない、また、属性データベースのある特定のフィールド だけが修正できないなどの制限を加える事ができます。



居性フィールドの設定 🗵	
7ィールド名(W) 住所 🖌 OK	バート」ー[ようこそ]バネルと同様に
スタイル⑤         へ         キャンセル           文字型          左弯世	表示権限:属性照会非表示・属性ウィンドウ非表示
表示順序 3 マ 「リーーション(B) フィール(%(C)	変更権限:セルをダブルクリックしても変更不可能
	があります。データベースの場合は別途
「「(文字列)切場合) 空文でも接頭語、接尾語を表示」「「使常火ニュー等非表示 「 HTML記法	実行・コピー権限 : エクスポート時出力不可
<ul> <li>□ データベースリンク</li> <li>□ データベースリンク(絶フィールド参照)</li> </ul>	という権限設定項目があります。
◆照フィールド(B) ▼	この権限が許可されていないアカウントユーザが
データバース(D)	
7-47/-///W	テータベースをエクスボートしても、そのフィールド
	は制御が掛かっているため、出力されません。
7. (二)	
55×5557-ルド ※ 「 新泉色の18定 「 ¥ 「 空白時建調表示の対象	
表示権限 権限なし 💌 変更権限 権限なし 💌 実行・コピー権限 権限なし 💌	

|イメージデータ

はじめに

Π

システム機能

Ш

IV | ベクタデータ V | データベース

解析機能 VII

印刷機能

VI

IX

エクスポート



署名情報は[ファイル]-[パスワード保護プロ ジェクトの署名確認]から、プロジェクトを 開かずにパスワード保護プロジェクトファイル を指定する事で確認できます。

これまでと同様、プロジェクトを開いた後で、 [プロジェクトエキスパート]-[署名]パネル からも署名内容を確認できます。

しかしプロジェクトを開いた時点で悪質なスク リプトが走るようなプロジェクトであった場 合、開いてから署名を確認しても手遅れです。そ のため、ファイルは開かず、署名だけを確認す るメニューが追加されました。

署名を確認した上で、データを開くかどうかを 選択し、<はい>で初めてファイルが開かれ ます。



\*\*

\*\*\*

このデータの署名情報 このデータの署名情報

1-28198-37723

RHEA

ライセンスロ

フロジェクトエキスパート(発電所データ)

レイヤ
 読示モード
 第二番目パラメーカー
 「環境・1
 「環境・2
 「副目ピデータベース
 「広知イメージ」

さらに、インターネットを介して、マプコンサイトに照会する事で、そのプロジェクトに 付加されたライセンスIDを保有する会社名(ユーザ登録が正式にされていれば)などを確認す る事ができます。

ヒント集

#### パスワード保護プロジェクトファイル

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/other/hint17.htm

#### リレーション時のオプション設定



はじめに

Π

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

|ベクタデータ

V | データベース

VI

解析機能

VII

×

1 OK

▲ PC-MAPPING Ver.6

PC Mapping Webサイトで社名等を確認する

🗶 キャンセル



#### 色覚調整(LMS 設定)

[プロジェクトエキスパート]-[表示モード]パネルにモノクロ表現として、〈高度な設定〉 ボタンを追加しました。ここでは、「色覚調整」ダイアログボックスによって、画面上の地 図表示を調整する事ができます。

- ※RGBとL、M、S錐体の反応の間の変換は色を伝える時に、考え忘れていたこと(色 弱と色空間 その1)を参照しています。
- ※色覚の分類は色覚モドキソフトを作る(色弱と色空間その4) および、色覚異常の分類 を参照しています。
- ※色覚のシミュレートにあたっては色弱・色盲の方の視界をシミュレートする CUDGlassを参照し、かつ、そのソースコードの一部を CUDGlassの著作者である Open MagicVox.net の管理人 紫京 ぴろり氏の好意と承諾を得て利用しています。 ※本機能は現在、試験・評価中のものです。

調整例



I|はじめに

Π

システム機能

Ш

VШ

インポート

IX

エクスポート

VII

VI

解析機能

#### 連続変数の等級分類(個別色)によるカラー設定

[設定]-[レイヤ描画設定]のポリゴンとメッシュに、[連続変数の等級分類(個別色)による カラー設定]を追加しました。

これに伴い、従来の[連続変数の等級分類に よるカラー設定]は、[連続変数の等級分類(グ ラデーション)によるカラー設定]に改名しま した。



#### [作業データも圧縮して生成]オプション

[ファイル]-[システムツール]-[統合広域 イメージの生成]に、[作業データも圧縮して 生成]オプションを追加しました。

従来、作業エリアとして非圧縮相当分のディ スクが必要でしたが、このチェックが ON の 場合、作業データも圧縮して生成されるため、 より少ないディスクでも大きなファイルを生成 できます。

合広域イメ-	-ジの作成	
复数のイメージ	を座標情報をもとに、統合広域イメージの作成します	V OK
□広域イメ	ージのデータを統合	1 ++2-121
プロジェクト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	NH7
レベル		
	了後、現在の登録を解除し、生成した統合広域イメージを登録する	🞽 確認
現在開かれて	こいるイメージおよび、ベクタレイヤの背景イメージから	
		チェックオン
		チェックオフ
		すべてオフ
		商業印象 すべて商業印象
主) 座標系の Eした場合の動 2像度	異なる、あるしいながけ高額れたイメージ、または、カラー構成(ビット鉄、パレッ が作なり発音をれません	ト)の異なるイメージを指
最高の解像原	£に合わせる ○────────────────────────────────────	
:縮 標準	「正縮【推奨】 ・ 「 カラー構成を強制」 ・ 「 、 異なるカラー構成 ・ 通 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	的に24ビットカラーにする イメージを統合します)
(隙間が発	主しないよう)画像サイズの丸め調整を行う(精度的にはやや甘くなります	<i>t</i> )
	成レベル 1/32まで 👻 メッシュサイ	ズ 256【推奨】
計画像の生		
制小画像の生 7)高精細の給		・ールに、 II像に変換されます
計画像の生 「高精細の絡 【存先 F¥		ールに、 19像に変換されます

#### デフォルトの座標系設定 🎎 システム環境設定 [ファイル]-[システム環境]-[システム環境] ルックアンドフィール 表示と印刷 操作 操作2 ドッキングバー 設定]-[操作-2]パネルに、「デフォルトの座 ☑ "リーディングスクロール" 機能を使用する ── 縮尺が指定より大きい場合のみに限定する 1 / 1000 🔝 以上 標系設定]オプションを追加しました。 10 🔝 🛪 動作を開始するマウス位置のウィンドウ端からのマージン 上下左右同時スクロールするマウス位置のウィンドウ端からのマージン 40 (1) 。 これは、「CoordInit」を書き換えるもので、 連続スクロールの速度 速 遲 □ 高速スクロール(スクロール中、一部表示が乱れる場合があります) 「LayerCoordInit」などが別にあればそちら 使用するスクリプト言語 💿 VBScript O JScript(JavaScript) が優先されます。 スクリプト処理の際に参照する"共通ライブラリ **1** デフォルトの座標糸の設定(Z) 世界測地系(W) ◎ 直角座標系(R) 縮尺(S) 1 / 2500 系(K) 9系 ▼ ◎ 経緯度座標系(D) 縮尺(S) 1 / 25000 -パー座標系(P) 幅 800 📑 高さ 600 📑 (mm) 縮尼(S) 1 / 2500 ☑面積計算・交点計算等を多倍長積度演算(有効析設を部分的に倍増させます)で行う ◎ 経緯度での距離計算を(UTM投影計算でなく)準拠精円(すから高積度で行います) ヒント集 【pcm.ini】pcm.iniファイル② OK ヘルナ トッンセル トッシセル トッシセル http://www.mapcom.co.jp/support/hint/other/hint46.htm

はじめに

Π

システム機能

Ш

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

ーエクスポート

#### 直ちに印刷設定して印刷(スナップショット)

[ヘルプ]-[スナップショット機能の設定]に、 [直ちに印刷設定して印刷]機能を追加しました。

スナップショットを実行すると、[イメージ印 刷]ダイアログが表示され、印刷設定を行い 印刷をすることができます。

- <b>、</b>	スナップ	ショット機能の	設定					×
た。	コピー(Pr	intScreen)キイ(こ	る画面	イメージの作成す	を設定します	1	OK	
	◎ 設定	なし(Windowsのテ	デフォルト(	D動作)		n.	キャンセ	216
ED	🔘 スクリ・	ーン(画面)全体を	ミコピーする	5		R.	AJU3	,
)	O PC-N	1appingのメインフ	レームウィ	ンドウをコピーす	5			
	◎ アクテ ポップ	ィブなウィンドウ アップウィンドウ	(MDI子・ など)をコ	ウィンドウ、ダイ ピーする	アログ、その他	1Ø		
		🗖 3ť –¢	ዮተወየቲቶ	のしこボーズ (Par	use Break)キィ	を使う		
	🔽 直ち	に印刷設定を行	って印馬	りする				
	() (第1774	ແບນອາວາກ-	ンヨンに肥	ດເມດອ	Microsoft	Word		-
	イメージ	の解像度として登	録する値	(DPI)	150 🗸			
hai Canan 181-3010 LIP64 (wi 18 3367 32 1993 mm <u>S</u>	inapose0 600 041 2022年最終, 副(1)11	707	₩3 30 × 30 × 50 × 4					2
e () () () () () () () () () () () () ()	1721 2.886 1721 2.886			2 と連番をつけ	て保存されます	にりせ	ットする	
0000 072-000 002209720601202	110 110 110 110	<ul> <li>→ - 1 → - 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1</li></ul>	. 用标业(41:11年) 54. 出7回3件书	0	KB <sup>ファイル巻</sup>	t c	)	

#### アクティブタブでの閉じるボタン



\* - 2018 単位がい。 ガンク 均平時間 デイズ放送か つ 2 デイズ放送か つ 1 イメージの研究 の R

4040 7810 1990 1180 84

#### アンチエイリアス効果(文字)に、[縦書き文字に代替手法を適応する]

[ファイル]-[システム環境]-[システム環境 設定]-[表示と印刷]パネルの、「拡張グラ フィックス」-【詳細設定】に、[縦書き文字 に代替手法を適応する]を追加しました。 この機能は、縦書き文字(@がついたフォン ト)に対してアンチエイリアス効果を利用する 際に利用されます。

ビットマップ上に、通常(拡張グラフィックス) の文字列描画を数倍程度大きいサイズで行い、 これを拡張グラフィックスを用いて高精細な 縮小処理をすることで、アンチエイリアス効 果を実現します。

ただし、フォントやグラフィックドライバー によっては、乱れる可能性もありますので、 その場合は、チェックをOFFにしてくださ

16



- はじめに

Π

システム機能

Ш

|イメージデータ

IV | ベクタデータ

VI

フォルダを開く、>>

VШ

インポート

IX

エクスポート



17

#### タイトルのファイルパス

[ファイル]-[システム環境]-[システム環境 設定]-[ルックアンドフィール]パネルに、 「タイトルバーにパス名を加えて表記する」 チェックボックスを追加しました。

プロジェクトワークスペースのプロジェクト タイトルの右隣にプロジェクトファイルパス を表示します。

● 標準(図)	9U3    MAC 24 년    이 Visual Studio 2008 Office 2007 (Qbsidian)    Office 2007 (Gilver)
<ul> <li>ワークブック(タブンをMDIウィンドウ) ・</li> <li>ケブのスタイル VisualStudio2005 ・</li> </ul>	■ * Comp. (Strictly were black and a strictly and strictly and a strictly and strictly and a strictly
スプラッシュウィンドウを表示する(S) イメージファイルのパス	
▼フレームウィンドウの背景イメージ(B) ● 中 イメージファイルのパス F¥横山¥展示会¥2 	
▼「デキノデバノドスリース=フヨノ表示」の ボッノアッノメニュー表示 新り元元み ▼ 「ポップノップメニューに影をつける ビノニュー、ダイアログ等を「レイヤ化ウィンドサード」	
ダイアログのボタンスタイル(1) 、 、メタリック	JUZI- Sample
ルバーに大気いまた、水配果(小畑和太空れ	244) X2 v

はじめに

Π

システム機能

Ш

ーイメージデータ

IV | ベクタデータ

**V** | データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

ーエクスポート

#### Virtual Earth Map バーに検索機能追加

[Virtual Earth Map バー]に、場所検索ウィン ドウを表示して、検索できる機能を追加しま した。Virtual Earth Map バー上で、右ボタ ンを押すと表示されるポップアップメニュー から表示します。

このバー内の機能(検索や表示位置など)は、 Virtual Earth Mapコントロールに依存する ため、PC-MAPPINGでは制御できません。



#### ヒント集 表示領域検索

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/vector/hint34.htm

#### 16Bit 階調 TIFF ファイルインポートオプション

[ファイル]-[システムツール]-[16Bit階調 TIFF ファイルインポート]に、3つのファイ ルを指定してそれぞれをRGB色に割り当て て合成するオプション機能を追加しました。

16ピット1	「IFFファイルのインポート	
16ピット階	調のTIFFファイルを8ビット階調に変換して読み込みます	V OK
元のデ	ータの有効ビット長 12 👻	<b>へ</b> キャンセノ
パス名		🌵 ヘルプ
V 97 V-	合成(モノクロ画像をRGBに割り当てて合成カラー画像を生	医成します〉
RED		
GREEN		
BLUE		

#### SXF、DXF データ等のインポートでの文字表現の再現向上

[システム環境設定]-[表示と印刷]に、以下 のチェックボックスを追加しました。 ・「固定ピッチの場合の場合のフォント幅を調整する」 ・「半角文字の縦書対応」

主として、SXF、DXFデータ等のインポート での文字表現の再現向上で使用します。その 際は、デフォルトを変更して、「固定ピッチ の場合の場合のフォント幅を調整する」を OFF、「半角文字の縦書対応」をONで使用 します。

22/16/第58、 22/16/第58、 22/16/第58、 22/16/第58、 22/16/16/96 (2011) 22/16/16/96 (2011) 22/16/16/96 (2011) 22/16/16/96 (2011) 22/16/26 (2011) 22/16 (201	Pンドフィール 表示と印刷 操作   撞作	12 ドッキングパー
	イスプレイの解像度 小でが「強人」応じを算出するのは、ディスプ 度が必要です、使用しているディスプレイの さを指定してください	レイの解 あよその大 「19インチディスブレイ 126 (DPD * ~ 「ワインチディスブレイ 126 (DPD * ~
王福裕下 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	「拡張グラフィックス」を利用する	✓ ペクタ線 損面の 拡張 ✓ ボリエンフィルの 転換
は約2つのこれ、利用するという通知の表示を示す。ユーボルでは、利用するという、 「最近な日かりのにしていたが、「「」のからない、」、「」のからない、」、「」のからない、」、 「最近な日かりのにしていたい、」、「」のからない、」、「」のからない、」、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	詳細時定 >>	■ 画像の高精細処理 アンチェイリアス効果(文字)
2 単語のにないため、単の時やのきないというが、単語のであた。 2 単語のやけづくなりつうし、合き、 2 単語のやけづくなりつうし、合き、 2 単語のやけづくなりつうし、合き、 2 単語のやけづくなりつうし、合き、 2 単語のやけづくなりつうし、合き、 2 単語のやけづくなりつうし、 2 単語のやけづくなりのでし、 2 単語のやけづくなりつうし、 2 単語のやけづくなりのでし、 2 単力のでする 2 単力のでの 2 単力のでする 2 単力のでする 2 単ののでする 2 単のので 2 単のの 2 単のので 2 単のので 2 単のので 2 単のの 2 単のの 2 単のので 2 単のの 2 単のの 2 単のの 2 単のの 2 単のの 2 単のので 2 単のので 2 単のの 2 単のの 2 単ののの 2 単ののの 2 単のの 2 単のの 2 単ののの	総領グラフィックス」を利用すると縮小画像の まずれ、ディフラレイやフリンクドネイバーによっ 場合はチェックをOHIにしてこ利用ください	高橋編表示、ユーザ国形での半浅明違りつぶしなどがで ってけ、正しく表示・47場話れない場合があります、このよう
◎ 価格のやサンタロッスしん気味が、 (○原用型・外の目、かい)、・の方向を見ない。 (○原用型・外の目的やかい)、(○原用型・外の目的やかい)、(○原用型・外の目的やかい)、小なななななす。 (○原用型・小の目的やかい)、(○原用型・小の目、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の用、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・小の目、)、(○原用型・(○原用型・(○原用型・用、)、(○原用型・(○原用型・(○原用型・(○原用型・(□用、))、(○原用型・(□用、))、(○原用型・(□用、))、(○原用型・(□用、))、(○原用型・(□用 = (□用 = (□ = (□	「 抽画の注記、シンボル描画の高速化	■印刷時の注記、シンボル描画の高速化
■ 細語 EIE編集合におやサイズを描述する ■ 目前回やっその後をのつっく小塔を描述する ■ 中央文学の総合されに 「イメーフにしてに開い、といトマップン」が多いであまり。 ・ (Med) ~ (Med)	「抽画の利ゴン塗りつぶしの高速化	◎ (直角座橋系時)ヨンパスパーの方向を真北へ
■キ内文平の縦巻き対応 「イメージにして印刷」、ビットマップブリンが時の作業メモリ量 ・ (Ms) 、「人材」で有些問題用できませる。「そり」です。カリンのドラノなどの環境 ・ (Ms) 、「人材物質で見知でできます。人口、考えと明知手法で感望しま	捕鹿 白眉桃寺介注記サイズを調整する	☑ 団団ピッチの場合ホフォント値を調整する。
Fイメージにして印刷」、ビットマップブリンタ時の作業メモリ量 ・ 大丸、方が速度は期時で考えずれ、メモリ、アデオ、プリンクドライバムとの登場 ・ (MB) つしは物情が不安定したる場合が多りえます。Oにすると日晩手法で処理しま		半角文字の縦書き対応
	イメージにして印刷」、ビットマッププリンタ時の 0 ・ (MB) 大夫()大が使度以期 って以数) 同・イ安定	の作業メモリ量 時で改ますが、メモリ、ドデオ、フリンのドライバなどの理論的によ になる場合が多りえます、OCすると見切り手法で処理します
自動再播画根能 なし ・ 中接け処理をする最大子ホリゴン敬 4000	自動再播画機能 なし 👻	中接け処理をする最大子ホリコン級 4000
▼マウス処理中は強調プリンクを抑制する	マウス処理中は強調プリンクを抑制する	
表示時券プリポイント提遍抑制のしきい値(ピクセル) 4 🔍		(54c) 4 -

#### ディスプレイの換算方法

[ファイル]-[システム環境]-[システム環境 設定]-[表示と印刷]パネルのディスプレイ解 像度に関して、ディスプレイサイズからの換 算方法(液晶ディスプレイに合わせて)前面 改定し、16:9のワイド液晶ディスプレイにも 対応しました。

従来は4:3のCRTディスプレイを想定し、た とえば20インチの場合横サイズを20X(4/5) の16インチにCRTの無効部分を加味して 10%程度小さめに見積もっていたものを、液 晶ディスプレイとして、16インチそのままの 値で算出されるように変更しています。

表示での「猫」へ」などを登出するには、ティスフレー 像度が必要です、使用しているディスプレイのおよ きさを指定してください	その大	19 19	<b>インチ</b> インチョ	27. 27.20	मन धन	126 126	(DPD *	_
✓「拡張グラフィックス」を利用する 詳細設定>>	1	8 9 10 12 14 14 15	じししししししし	イスプスストストス	ערערערער	300 267 240 200 71/1 171 160	(DPD (DPD (DPD 184 (DPD) (DPD) 157 (DPD) (DPD)	
「拡張サラフィックスは利用すると縮小面像の高 変ますが、ディスプレイやカリンタドライバーによって な場合はチェックをOfficしてご利用にださい ■ 描面の注記、シンボル描面の高速化	橋總表示 は、正しく: ▼印刷	15 17 17 19 19 20	われわれわれ	バトス バスド バスト	いいいい	141 141 126 126 120 120	147 (DPD (DPD 130 (DPD) (DPD 116 (DPD) (DPD)	
一 抽画のポリゴン塗りつぶしの高速化		20 21 21 21 22	われれ	мт. 47. ИТ		7124 114 7124	110 (DPD (DPD) 105 (DPD)	
E search characteristic of a second star	□ 半角	22424	われれた		れん。 れイ れん れん	100 701 89	100 (DPD (DPD) 92 (DPD) (DPD)	
「イメージにしてCPMU、ビットマップブリンダ時の「 の ・ 、 (ME) 、 たえい方が速度は影响 っては動作が不安定した	F菜メモリル で含ますが 25場合が	27 30 30 50	われたり	が代え		207 80 767 48	82 (DPD) (DPD 70 (DPD) (DPD)	
自動再描画機能 なし 🔹	中排计处	50 70 70	心判心的	日本	以	パレイ 34 パレイ	44 (DPI) (DPI) 31 (DPI)	
▼マウス処理中は強調プリンクを抑制する		_						

#### [表示モード]の【標準ヘコピー】ボタン

[プロジェクトエキスパート]-[表示モード] の設定で、【標準ヘコピー】を実行すること で、レイヤの表示設定に関しても、即座に反 映するようになりました。

🌭 プロジェクトエキスパート	( 野洲都中主町Dup )		
レイヤ     読示モード     読示モード     描面パラメーター <sup>*</sup> <sup>*</sup> 現現・1 <sup>*</sup> <sup>*</sup> 現現・2	登録をれた表示モード で 現在の理学部定 DispMode=14		<ul> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> </ul>
<ul> <li>■ 暦世データベース</li> <li>■ 広域イメージ</li> <li>■ 広域ペクタ</li> <li>■ 新設ビクチャー</li> <li>▲ 標高メッシュ・TIN</li> <li>▲ クイックシェイプ</li> </ul>		- 背景ノイヤ(1) アーク - 学術形 - 神間点 - 方向 ノード - 端点 - 結合点 ポロン - マフル ポイント - マ - ジロ部 - イメージ - メッシュ - 福谷	<ul> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>高性</li> <li>気性</li> </ul>
<ul> <li>ジアマップ</li> <li>谷田 エリアマップ</li> <li>谷田 ガランクト</li> <li>マウスクリプト</li> <li>マウスイペント</li> <li>マウスイペント</li> <li>キイリスト</li> <li>ツリーフロパティ</li> </ul>	Bistma) Distance Battaren	セリ酸は)         は成化(2011)        は広緒(スーク目)        皆最化クタし)         はなが(2011)        にた結イスーク目)        皆最化クタ は合われておない        マークエイブ(気)        スカール 皆最色(加加)(2011)        マーフ・オン代表素示(10)         王頃化名楽点引決示(3)        文サ和単公表示の前創 累仕未示の前記集(2)	74-(D) (-(3172)
<ul> <li>⇒ メモ</li> <li>■● リビジョン倍理</li> <li>図2 重名</li> <li>20 WMSサイト</li> </ul>	<ul> <li>              ▲ 環境など             ▲ 環境など             ▲ 環境など             ▲ 「ないたいでのののです。             はんであまた             ・・ハックー                  ▲ レイで表示             ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	クリッドの         1 年         定点         構成           グリッドの開始、学自動         00000 000000         00000 000000           一括信面モード()         強調カリンク         約長レイヤ           モンクロ表現         高度た設定の         高速	・ マ  対最レイヤ  低線
		V OK 🐧 480,4216 H	5.ILA

🖌 OK 🚺 445/011 🎼 1/1/7

#### Ζ値の少数桁

[プロジェクトエキスパート]-[環境2]に、 「高さ(Z値)値表示の少数桁」を追加しました。



#### 属性照会時のフォーカス制御に関する Pcm.ini の仕様

属性照会時のフォーカス制御に関して、pcm.iniでの設定の仕様を統一して [PcmAttrInq] セクションに、 Focus=1 のとき、属性照会のウィンドウではなく、元のベクタービューがフォーカスを持つように しました。 はじめに

Π

∇ | データベース │ Ⅵ | 解析機能

VII

IX

ーエクスポート

#### マウス押下時のモード

通常は、マウス中ボタンを押すと、拡大処理 モードに入りますが、一定時間マウスを移動 させずに中ボタンを押し続けることで、移動 モードに変更するようになりました。

[システム環境設定]-[操作]パネルで、この時間(ミリ秒)を設定します。

なお、この時間を0秒にすることで、この機 能はOFFになります。

また、この時間を-1秒に設定することで、拡 大処理モードにはいらず、直接移動モードを 実行します。

ホイールを中ボタンとして使う際、中ボタン としての押下とホイールの回転やチルトなど が混乱しやすくなりますが、中ボタンを押下 中、および話されてから一定時間は、ホイー ルに対して反応しないようになりました (PC-MAPPING上での対応であり、マウスド ライバー等で別途処理している分に対して は、関与はありません)。



#### 起動オプション -prmuserdir

起動オプションとして、[-prmuserdir]を追加しました。

例えば、-prmuserdir sss とした場合、VISTA では、C:¥Users¥(ログイン名)¥sssの フォルダをデフォルトのフォルダとします(このフォルダを-prmdirで指定したものと同じ)。

#### ヒント集 起動オプション一覧

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/other/hint35.htm

#### クイック属性照会のフィールド名併記

クイック属性照会

[プロジェクトエキスパート]-[環境1]パネル で、クイック属性照会に関して、「フィールド 名併記」のオプションを追加しました。 ※このチェックがON、対象の要素がレイヤ エキスパートの[属性データ表示制御]で 「クイック属性照会対象」になっている、 かつ、拡張ツールチップの使用が設定さ れていない場合、フィールド名とその内 容がHTMLテーブルに表記されます。



#### ヒント集

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/vector/hint47.htm

20

はじめに

Π

システム機能

Ш

|イメージデータ

IV | ベクタデータ

V | データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート

#### レイヤ内部属性の「ID」フィールド

レイヤの内部属性に「ID」というフィールド があった場合、属性照会ダイアログで内部属 性番号(ID)と併記して、そのフィールドの 内容を表示されるようになりました。

独自のユニークなIDで管理される地理情報 標準準拠のデータ確認用に利用します。

1 属性照会	×
対象レイヤ 表示されているすべてのレイヤ 🔹	80 % 🖥 🖾 🔮
■.] 建物 🗸	🥥 非表示要素捕捉なし
ポリゴン 内部番号 69 🔹	
ポリゴン 内部番号 69	周性コピー(A)
レイヤ: 建物	🕞 情報コピー(C)
サーフェイスID:69	座標リスト(L) >>
最終更新時 2008/9/2 17·31·13	データベース呼出(D)
ポリゴン周長 20910(m)	リレーション起動(E)
ポリゴン面積 2,137,48(m2)	レイアウトビュー(い)
親ポリゴン内部番号 0 子ポリゴン 0 構成アーク数 1 補間点数 5	● ユニオン強調 🖊
構成アーク[0] (+) 内部番号 69	このレイヤを前昇に
補間点[0] -33,178.33(m) -1,059.19(m) 35.000(m)	
補間点[1] -33,176.50(m) -1,031.37(m) 35.000(m)	
補間点[2] -33,253.00(m) -1,026.34(m) 35.000(m)	
補間点[3] -33,254.83(m) -1,054.16(m) 35.000(m)	
補間点[4] -33,178.33(m) -1,059.19(m) 35.000(m)	

# 電子国土ビューア (バー)

ドッキングバーに、[電子国土ビューアー (バー)]を追加しました。

既存の[Virtual Earth Mapバー]と同様の動 作をします。

※ただし、電子国土プラグインがインス トールされている必要があります (非 ActiveX版では動作しません。)



|イメージテータ №|ベクタテータ <>| テータベース <>>| 解析機能

Ι

はじめに

Π

システム機能

Ш

**IX** | エクスポート

VII

# Ⅲ. イメージデータ

#### イメージの編集機能 (拡張 OP から標準メニュー化)



#### イメージ保存時のオプション設定

[ファイル]-[名前を付けて保存]等から表示される保存時の[名前を付けて保存]ダイアログ

ボックスにオプションボタンを追加しました。 ボタンを押すと[イメージデータの設定]ダイ アログボックスが表示されます。 ここで圧縮パターンや解像度の設定を、[画像 のプロパティ]を開かず、保存時に設定でき ます。



はじめに

II

システム機能

Ш

イメージデータ

IV | ベクタデータ

**V**|データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

エクスポート





#### インデックスカラー画像のパレット設定

[カラー変換]-[インデックスカラー画像のパレット設定](コマンド:PaletteChange) を追加しました。

8ビットカラー画像のパレットを編集でき、 他のイメージのカラーパレットを参照して読 み込む事も可能です。

また、同様の機能を、[レイヤエキスパート]-[イメージ]パネルの<パレット変更>ボタン から直接呼び出す事ができますので、イメー ジメニューを辿らずにベクタ操作画面から容 易に背景イメージのカラー編集が行えます。



はじめに

Ш

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

|ベクタデータ

v

データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポー

ĸ

#### イメージの切り出し







#### PC-MAPPING HT Ver.7 はじめに 背景ピクチャーイメージの座標補正 [編集]-[(背景)イメージ編集]-[背景ピクチャー イメージの座標補正]を追加しました。 と書きすか(3) ただし、回転がかかっているものには対応し П ておりません。 システム機能 Ш イメージテータ **ヒント集** 【イメージ編集】背景ピクチャーイメージの位置補正(正規化) http://www.mapcom.co.jp/support/hint/image/hint12.htm イメージウィンドウでのタイトル表示 IV | ベクタデータ イメージウィンドウでのタイトル表示を、 **骤** PC-Mapping - [土地利用-2 [800:647:24] 土地利用-2.tif(F:¥ 「タイトル[サイズ]ファイル名(フォルダ名)」 🖦 ファイル(E) 表示(V) 編集(E) 正規化(N) オルソ補I となるように調整しました。 🔲 📮 🗨 🗨 🚛 🔩 🖾 🛤 🛱 🖓 🖨 ▶ 💾 💼 全データ検索(V)... 📜 属性検索(S) 🕌 Towns 🗊 辞書 💽 土地利用-0 💽 Snaps **V** | データベース

#### ファイル名にメッシュコード、DM 図郭コード

イメージファイルの読み込みで、ファイル名にメッシュコード、もしくはDM図郭コード が用いられている場合、その情報から座標系をセットする機能を追加しました。

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

**IX** エクスポート

なお、GeoTiffやワールドファイルがある場合は、そちらの情報が優先されます。

# IV. ベクタデータ

#### 論理ピクセルを廃止

Ver.7では、PC-MAPPING 当初から採用されてきた「論理ピクセル」がついに廃止されます。 「論理座標(ピクセル)」という概念は国土地理院の数値地図や旧国土庁時代からの国土数値 情報、あるいは、全国デジタル道路地図などで古くから使われてきたデジタル地図の概念で、 1つの図葉やメッシュの内部を整数値で正規化した座標で表現するものであり、 PC-MAPPINGでも開発当初から使われてきました。 T

はじめに

П

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

|ベクタデータ

v

| データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

ーエクスポート

今回、各種の測量データの取り扱い、また、地理情報標準などで扱われるデータなど、必ずし も図葉という概念がないデータの扱いをより簡便にするために、「論理ピクセル」を廃止し、 直接実座標値をもって内部のデータとして処理するように更新しました。

実データとしての有効数値はいわゆる倍精度実数として約15桁(10進数)の精度は基本的 には変わりませんが、従来有効データ範囲を座標系(図郭)の設定に強く依存していた煩 雑さからは解放されます。

PC-MAPPING Ver.6 PC-MAPPING Ver.7 [直角座標系の設定]ダイアログボックス 直角座標系の設定 直角座標系の設定 × X 解像度(<u>R</u>) OK 🖌 ОК 1 (m) 0.001 左上① -27371 右上② -27371 3478 **1** キャンセル × キャンセル 論理図郭(Q) (m) 左下(1) 26610 7036 右下② 36610 3470 NU7(H) 😧 ヘルプ(H) -7836 右上② -27371 左上(1) -2737 DM図葉コード(<u>D</u>)... 🛛 💽 左下(1) -36618 -7836 右下(3) -36618 347 □ この座標は世界測地系です(W) 日本測地系く>世界測地系 1 DM図葉コード(D)... -付帯情報(A) + + + □ この座標は世界測地系です(型) 日本測地系<>世界測地系 系(K) 09 -縮尺(S) 1 / 2500 参昭 - 付帯情報(A) ▼ 高度な設定 縮尺(S) 1 / 2500 糸医 09 -解像度(B 従来の論理解像度 (同じ座信とみんす) 「白動 最高解像度」 「ロロロロロ 🧾 (m) 0.001 🧾 (m) 0.0000 11314000 × 9247000 [経緯度座標系の設定]ダイアログボックス 経緯度座標系の設定 経緯度座標系の設定 × × 論理図郭(Q) 左上(1) -解像度(R) 1 □ 変則図算 OK 🖌 ОК 右上② 東西(E) 0.0730.000 💌 (pixel) E139:44:59.701 N35:45:00.20 ↑ キャンセル 検 ヘルプ(円) E13952/30.135 N35/45/00.202 X 740/2/1 -南北(1) 0:05:00.000 -E139:44:59.701 N35:40:00.030 E139:52:30.135 N35:40:00.030 😧 ヘルプ(H) 🛛 • | 右下③ 左下型 JISメッシュコード(J). 💽 論理回郭(Q) (DD • • □ この座標は世界測地系です 300 左上(1) 右上(2) 日本測地系く > 世界測地系 -F1395230135 N354500202 E13 -付帯情報(<u>A</u>) E139.44.59.701 N35.40.00.030 • E139.52.30 \* \* \* 縮尺⑤) 1 / 25000 \_\_\_\_\_ 右下③ , 左下 JISメッシュコード(J). ▼ 高度な設定 F解像度(<u>R</u>) 日本測地系 < > 世界測地系 □ この座標は世界測地系です(型) (同じ座標とみなす) ▼ 自動 最高解像度 従来の論理解像度 - 付帯情報(A) • 10000 東西(E) 00730.000 南北(W) 0.05-00.000 縮尺(5) 1 / 25000 • 10000 (pixel) 
 会議
 10010 × 10006

#### メッシュデータの取り扱い

国土数値情報(JPGIS準拠データ)のメッシュ データに対応しました。

[ファイル]-[インポート]-[国土数値情報]-[国土数値情報(JPGIS準拠データ)](コマンド: ImportNLAJpGis)からメッシュデータを選択 すると「メッシュ」が読み込まれます。

「メッシュ」はアーク・ポイント等、従来の ベクタと同種のレイヤ要素としてレイヤに格 納されます([レイヤエキスパート]-「メッ シュ]パネルが新設されました)。 内部属性を持ち、[属性]-[属性ウィンドウ表示]-[メッシュデータ属性ウィンドウ](コマンド:

MeshWnd)が実行できます(ただし、データ ベースメニューからの「レコードの並び替え」 は実行できません)。

データの内容も通常の内部属性の編集と同様に 行えますので、値を変更した後、再度メッシュ 描画をする事で表示の更新が行なえます。

メッシュ描画は[設定]-[レイヤ描画設定](コ マンド:MakeLayerRender)で行い、結果 は「レイヤの背景イメージ」として[レイヤ エキスパート]-[イメージ]パネルに反映され ます。 国土数値情報インポート(JPGIS準拠データ) 指定地域 三大都市圈計画区域(面) [A03] 沿岸域 空港(点、面) [C28] 標高·傾斜度3次メッシュ [G04a] 標高・傾斜度細分メッシュ [G04b] 土地関連 地価公示(点) [L01] 都道府県地価調査(点) [L02] 土地利用細分メッシュ [L036] 土地利用3次メッシュ [L03a] 国土骨格 鉄道(線) [ND2] 行政区域(面) [N03] 道路密度・道路延長メッシュ [N04] 施設 公共施設(点) [P02] 発電所(点) [P03] 国土数値情報ダウンロードサービス(JPGIS準拠データ)へ **へ** キャンセル はじめに

П

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

ベクタデータ

v

データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート





[属性]-[属性照会]-[メッシュ属性照会](コ マンド: MeshInq)や「クイック属性照会」に も対応しています。





レイヤ描画設定

#### [設定]-[レイヤ描画設定](コマンド: MakeLayerRender)を追加しました。

メニューを実行すると[レイヤ描画設定]ダイ アログボックスが表示され、指定したレイヤ のベクタ要素とその属性に応じて描画が行え ます。

レイヤ描画書	定	
L√ヤ(L)	■ 震源分布-2005	- III - IIII - III - IIII - III - II
連続変勢	数の等級分類によるカラー設定一	離散変数のコード分類によるカラー設定
E	アーク描画設定 >>	アーク描画設定 >>
14	ノード描画設定 >>	10. ノード値画設定 >>
B	ポリゴン描画設定 >>	おゴン福画設定 >>
<b></b>	ポイント描画設定 >>	📙 ポイント描画設定 >>
	(#) メッシュ描面設定 >>	(*) svojn描画設定 >>
(*) yy	シュデータのカラー設定は、レイヤの	D背景イメージデータとして反映されます

1~3つのフィールドの値から、ポリゴン描画色やアーク線幅、カラー、ポイントシンボルの サイズやカラーを設定します。 3赤動カラーペン

3株4万~5次 数は47.7~0以下 (2)1年9月2世社 書小 長田 第1.001 年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 日 101年9月2世社 101年9月21日 101年91111 101年911111 101年91111 101	ペン種別ドイフィールド 描画/パラメータ / OK [7] GRender@ ▼ 1/38線 ▼ (▲ キャンセル) 線幅キイフィールド ご 読み込み / (小)パ(分)
7-04/身 観史/5本     ● <th><ul> <li>最小サイズ(mm)</li> <li>最大サイズ(mm)</li> <li>し.1</li> <li>は</li> <li>は&lt;</li></ul></th>	<ul> <li>最小サイズ(mm)</li> <li>最大サイズ(mm)</li> <li>し.1</li> <li>は</li> <li>は&lt;</li></ul>
(作用しない ●小 ●小 ● ③ ○ 574561413 ○ 40岁 ② ○ 77571282 ● ③ ● ③ ● ③ ● ③ ● ③ ● ③ ● ③ ● ③	
30	

イメージデータ IV ベクタデータ v | データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

ーエクスポート

**V** 

はじめに

II

システム機能

Ш

#### シンボル描画についての仕様変更

ポイント(ノード)シンボル表示に関する描画サブキイの処理に関して、以下のように仕様 変更となりました(以前のバージョンでのデータと互換性がなくなるので注意して下さい)。

シンボルサイズに関して
 従来

実数型の描画サブキイ(従描画チェッ ク)は「ファクター」とみなす。 Ver.7から

実数型の描画サブキイ(従描画チェック)は描画サイズ(単位 mm)とみなす。

V1 Y1 XAAF Y	36.7			
500 a 300 e	表示設定♥ 前景(編集可	> 」 ◀ 省県へコピー	「 内無SID	
1 7-1	□ 点位置 🔽 シンボル			
위 ' '	□ 応援 □ 应援(2)	□ ##2目(0/2−);	□ 横並びである	= (H)
2 /−F			(形式) 「 201001000	====
A		Intelectration of the second s	CIRLIE VITY I JAKEN SER	inva.u
( ポリゴン	表示7#2FE) MS	Ul Gothic 9 Point 🥂 参照(图)	-   「「拡張グラフィックス」を適	応しない
オイト	内部属性		The second	
20121	フィールド名	フィールド型 表示 主動画	従動画 ダ パクロール	
メッシュ	1 鉄道区分	整要な理想	<b>D</b> [2].	-
	2 事業者種別	整要な理由		
17-2	3 路線名	文字型	L@ 187	1( <u>A</u> )
キイリスト	4 運営会社	文字型	🔝 Aus	\$( <u>D</u> )
1	5 駅名	文字型	× 99	h(U)
> ツリーブロパティ	6 <u>7</u> 2-	カラー型	×	
×∓	7 公示価格(平均(前)	18.94.2h	- リンクフィー	いたの
1.00	8 @Render@	526039		
	o @BenderSize@	10230-00	4	
	9	POR AL	メモ・キイリ	121-22
			27.88 <b>6</b> 6	τ <b>ω</b> [
	and a second sec			30(p)
	•		) इत्यत्मा	WGV-
	参照する描画パラメーターセット(	P) ¥路線		-
		,		_
ブロジェクトエキスノ	(>>>	🖌 ок	1 A 400-01 1 12	ヘルプ
		-		

 ビットマップシンボルのファクターに関して 従来

実数型のビットマップシンボルは「サイズ固定」チェックがOFFであっても、表示縮尺に応じて描画サイズは変わらない。

#### Ver.7 から

ビットマップシンボルに関してもベクタシンボルと同様に、「サイズ固定」チェック OFF で表示縮尺に応じて描画サイズを変化するように変更。

#### 貼り付けメニュー

従来は、プロジェクト上に背景ピクチャーを表示させる際に、一旦、[プロジェクトエキス パート]-[背景ピクチャー]パネルで登録し、ベクタメニューに移動してからサイズ変更や 移動を行っていましたが、Ver.7では、[編集]-[貼り付け]メニューが追加されました。ベ クタメニュー上から登録→編集作業を行う事ができます。

[編集]-[貼り付け]-[クリップボードからベクタデータ] (コマンド: Paste)
[編集]-[貼り付け]-[クリップボードからイメージ] (コマンド: PasteImage)
[編集]-[貼り付け]-[クリップボードからメタファイル] (コマンド: PasteImage)
[編集]-[貼り付け]-[ファイルからイメージ] (コマンド: InsertImage)
[編集]-[貼り付け]-[ファイルからパレット(凡例)] (コマンド: InsertMeta)
[編集]-[貼り付け]-[ファイルからプロジェクト] (コマンド: InsertPalette)
[編集]-[貼り付け]-[ファイルからデータベース(NDV)] (コマンド: InsertNdv)
[編集]-[貼り付け]-[他のプロジェクトの取り込み] (コマンド: InsertPrjDoc)
[編集]-[貼り付け]-[スケールバー]
[編集]-[貼り付け]-[コンパスバー]

▽ | テータベース │ Ⅵ | 解析機能 │ Ⅵ | 印刷機能 │ Ⅵ | インポート

IX

ーエクスポート

はじめに

II

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

ベクタデータ

PC-MAPPING Ver.6	PC-MAPPING Ver.7
座橋指定       ×         ○ 直角座標       ×         ○ 信/宿底座標       ED0000000 N00000000         ○ 総宿底座標       ED0000000 N00000000         ○ ペーパー座標       ×         ○ 左上位置       ○ M図葉コード(少).         ○ 左下位置       ○ 右下位置         □□刷縮尺       1 /	座橋指定         ● 直角座標       X       832.717       Y       878.1       F00000000 N00000000         ● 常律廃産標       F00000000 N00000000       Y       333.087       F         ● ペーパー座標       X       351.24       Y       333.087       F         ● 左上位置       ● 右上位置       DM図第コード(D)       JJSメッジュコード(J)       JJSメッジュコード(J)         ● 中央位置       ● JJSメッジュコード(J)       ① 挿やた         サイズ       ● 古下位置       ● 上       ● キャンセ         ワイズ       ● 高角座標       ×       11540.435       Y       1260.355       F         ● 総倍度座標       ✓       ●       ●       ✓       ●       ●         ● ペーパー座標       ×       504.142       Y       ●       ●       ●
また、し「首 京 ビ グ ワ ヤ 一麻柵果」ダイ ブ ロ ク 小 ツ グ ク         PC-MAPPING Ver.6       PC-MAPPING Ver.7         背泉ビクチュア写集       ※         各 動(W)       学 日 転(B)         単 1 (大変更 ⑤)       ※         ※ 回 転(B)       ※         ※ 表示プロパティ       「 塗動して回転しない         「 皆泉を勿)アー       表示レベル (低位 ▼         表示加へ(P)       最新面へ(P)         最新面へ(P)       最新面へ(P)         最新面へ(P)       最新面へ(P)         最新面へ(P)       最新面へ(P)         解機比調整(P)       ※         解機比調整(P)       ※         素 開じる       ※	の「桶果(残能も1旦/II されしています。 く位置・サイズ指定>ボタンから表示される[[背 景ピクチャー座標指定]ダイアログボックス では、サイズと縮尺の指定が一度に行えま *Eをます。 1/ 「「」」」 「「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」 「

[表示]-[ズームボックスビュー](コマンド: Zoom View)を追加しました。

従来ルーペウィンドウで見るだけであったも のに加え、ズームボックス内で作図作業等 が行える機能です。



Ι

# 7

「日戸業能

**以一エクスポート** 



したかまでは情報としてファイルに保存されませんので、次回起動時は一般にアクティブ なビューになります。

## 簡易作図ツール「E シェイプ」

[作図]-[Eシェイプ]以下、次のメニューを追加しました。 [作図]-[Eシェイプ]-[作図] (コマンド : EShapeDraw) [作図]-[Eシェイプ]-[編集] (コマンド : EShapeEdit)
[作図]-[Eシェイプ]-[レイヤプロパティ] (コマンド : EShapeLayerProp)
[作図]-[Eシェイプ]-[エクスポート] (コマンド : EShapeExport)
[作図]-[Eシェイプ]-[Eシェイプ属性照会] (コマンド : EShapeInq)
[作図]-[Eシェイプ]-[Eシェイプの巡回表示] (コマンド : ViewEShape)
[作図]-[Eシェイプ]-[次のEシェイプ巡回箇所] (コマンド : ViewEShapeNext)
[作図]-[Eシェイプ]-[前のEシェイプ巡回箇所] (コマンド : ViewEShapePrev)
[作図]-[Eシェイプ]-[Eシェイプ巡回アニメーション] (コマンド : EShapeRound)
従来の「クイックシェイプ」と異なり、『簡易作図ツー ル』でありながらレイヤ構造を持ちますので、レイヤ 単位での表示/非表示が行えます。

**ベクタデータ V** | データベース VI 解析機能 VII 印刷機能

VIII

インポート

IX

ーエクスポート

T

PC-MAPPING HT V	er./	T
ビューモー	ドの設定	- はじめ
	[表示]-[このビュー独自の表示モード設定](コマンド:ViewDispMode)を追加しました。 ウィンドウ分割で一つのプロジェクトを複数の 「ビュー」に分けた場合、ある特定のウィンドウ に用いる特定の表示モードを指定する事がで きます。	に Ⅱ システム機能
	[表示]-[ビュー番号表示] (コマンド : ViewDispInfo) を追加しました。 [表示]-[このビュー独自の表示モード設定]	■ イメージデータ N   ベクタデータ
%指定によ	る画面表示 メニューにないコマンド ZoomRelを追加しました。 【書式】ZoomRel △ nnn 現在の表示画面を指定のパーセント(百分率)に応じて拡大、縮小する。 ZoomRel △ 200…表示縮尺を2倍に拡大	シーテータベース
ジオコーデ	ZoomRel △ 50…表示縮尺を 1/2 に縮小 イングウィンドウ	∨  解析機能
	[表示]-[その他のウィンドウ]-[ジオコーディング検索ウィンドウ](コマンド:PGCWnd) を追加しました。 従来の「インテリジェントジオコーディング (IGC) ウィンドウの表示」の後継で、入力 された住所からのその位置を検索して、画面 中央に移動します。	
		211 インポート
		X   エクスポート

#### [属性照会]ダイアログボックスでの座標リスト

ベクタの[属性照会]ダイアログボックスに<座標リスト>ボタンを追加しました。

ベクタの図形情報(例えば下の例であれば、 ポリゴンの構成アーク一覧)を別ウィンドウ に表示でき、そのリストをテキストやCSV 形式で保存する事ができます。

また、リスト内の座標値を変更すると<図形 データ更新>ボタンが使用でき、ベクタ図形を このリスト上からも編集する事ができます。

					P0	Massia PERMISSING				
27.01	(C) 1800	9 <u>a</u>	CUDIC: IN	DD 680	消经公 居任(公)	2 AO 223910	(2) 163(1616 (2))	ういわ思 へけほ		
De	5 🖬 🖬		(3) Hp (1)	1 (d) 🗟 1 🖬	N.2011 64		R. 181 66		2 2 25 2 25	
- 01	10	March 1997	Log at	Draman Mal						-
	<u> </u>	and the second second	1 CP 1112	- and -					-	
C S	<b>14,00</b>	住区城 ポリコン	10.14		_	2				<u> </u>
0 1	in the second	ELECT STER	100	7421 00V3+6	A-(2187#	1			< í	
m 8		AraID	AN EX.	42.81	(C. 16*	ul 🧰	<u>~</u>	125	ζ	1
78	1	13	35-27-53	7 139-38-00	.7 0.1	- mo		144	<u>&gt;</u>	
7 2	2	13	35:27:52.	0 139:37:50	.5 0.1				<u> </u>	
	3	13	35:27:51.	9 139:37:58	.9 0.1			2	<b>~</b>	
14	4	13	35:27:51.	7 139:37:59	.2 8.0			7		
100	0	13	35:27:50.	9 139:38:82	.2 0.1					· ·
4-1 1723	6	13	35:27:50.	7 139:38:02	.8 0.1			100		
4	7	13	35:27:48.	7 139:38:01	.7 0.1		-	MIT Y		
16	8	13	35:27:47.	1 139:38:00	.9 0.1					
-5-	0	13	35:27:46.	8 139:38:01	.0 0.1				- Ko o l	
ě.	10	13	35:27:46.	9 139:38:83	.8 0.1					<b>-</b>
4	- 11	13	35:27:48.	0 139:38:04	.6 0.1					7 A I
	12	13	35:27:48.	7 139:38:05	.1 0.0		- Col			/ 🥭 🛛
*	13	13	35:27:49.	5 T3A:92:02	.1	신 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소 소				
8	<u> </u>									
8	27 65	16.2					×		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2	対象レ	但 虚操的效	(資料プロジェ)	いを含むすべての美		ા પ્રચાલ છે. છે. છે. છે.	61	5		
6		行利交通			10	1.8		2		
~	- Calif						-	$\sim$		
22	leo a	Z PARAMINE IA	248	7 m 4 84		_				
<u>a</u>		# 808 G	1-04t	Service B		ana or	1000	N		
0	-	支持名		10011100	-	41814-83				
12	3	8-21975		#15市		国権リストロンン				
-	-	0117930T		COLX.		テータペース時出化の	253			
x	5	152to-11		14100		リレーションは時間	224		L	
*	7	公示國際任何	200	605 923		Personal and the second		7	<b>N</b>	
						ALST-CALL			· · · · ·	
										1
	1								_	- 1
	0.tt	ut 👗 0	connand							
商业资金	rt.					2	(mm) 06/40(1 06/40	E1093101.09 N352	17.41	270

🍇 行る	√行政区域 ポリゴン ID:14   ×					
[	図形データ更	新	キスト・CSVファイル	に保存		
	ArcID	緯度	経度	座標Z	備考	
1	13	35:27:53.7	139:38:00.7	12.0	※修正した	
2	13	35:27:52.0	139:37:58.5	0.0		
3	13	35:27:51.9	139:37:58.9	0.0		
4	N	35:27:51.7	139:37:59.2	0.0		
5	13	35:27:50.9	139:38:02.2	0.0		
6			100 00 00 0			
7	一左端	の番号をク	リックする	ると、そ	のレコード	
0	に該	当するべク	タに旗がゴ	Ĺちます	0	
9	13	00:Z7:40.0	139:30:01.0	0.0		
10	13	35:27:46.9	139:38:03.8	0.0		
11	13	35:27:48.0	139:38:04.6	0.0		
12	13	35:27:48.7	139:38:05.1	0.0		
10	12	2E.27.40 E	120.20.05 1	0.0		•

#### リンクフィールドの一括追加

[レイヤエキスパート]の各ベクタパネル内に<リンクフィールドー括追加>ボタンを追加しました。

ボタンを押すと、[データベースリンクフィー ルドの一括指定]ダイアログボックスが表示 されます。 「参照フィールド」「データベース」「キイ

フィールド」までが同じリンク設定フィールド を複数一括で追加できます。



T

はじめに

∨−データベース Ⅵ−解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

ーエクスポート

#### フィールド値のリストアップ

[選択]-[属性選択]から表示される[検索]ダイ アログボックスでのフィールド値リストアップ 機能を追加しました。

※リストに表示される順序は、出現数の多 い順になります。出現数が同じ場合はラ ンダムに表示されます。なお現状、200個 を超える場合はリスト表示されません。

检索:学校等-	-ポイント			x
	検索フィールド	条件	泰準値 / 李照フィールド	□ 叙込み表示①
☑ 第1年イ	[2] 名称 💌	厳密一致 💌		□ フィールド参照 @ AND © OB
□ 第2キイ	×	·	市立松延小学校	「フィールド参照 ( AND COB
□ 第3キイ	•	•	県立平塚商業高等学校	「フィールド参照 CAND COR
第4年イ	×		市立春日野中学校	□ 7イールド参照 ● AND C OB
□ 謝5キイ	×		市立吉沢小学校 市立睡原小学校	「フィールド参照 (F AND C OR
□ 第6キイ	E		市立江陽中学校 山立平塚県業務学校	「フィールド参照 C AND C OR
□ 第2キイ	▼ I		市立洪岳中学校	「フィールド参照 CAND COR
□ 第8キイ	×		市立山東小学校	「フィールド参照 CAND COD
□ 第9キイ			市立八幡小学校 県立平塚西工業技術商者	「フィールド参照 ( AND C OR
□ 第10キイ	E Contraction of the second se		市立富士見小学校	□ フィールド参照
	設定をクリアー	この設定の" 名称	市立土沢中学校 市立土沢中学校	建築を保存 🖻 設定を呼び出し
□ 現在の遠	【択結果をクリアーしてから実行	©	神奈川大学(平塚キャンパ) 市立土屋小学校	
□ 現在の達	旅レコードを対象にして実行く	紋り込み検索〉(四)	市立宗善小学校	キャンセル 🦗 ヘルブ(日)

はじめに

Ш

システム機能

山一イメージデータ

Ⅳ│ベクタデータ

V

|データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

ーエクスポート

#### 固有属性転記 オプション

[属性]-[固有属性転記](コマンド: AttrlTrans)のアーク・ポリゴンの「転記する固有属性」に

- 存在領域最小 X 経度 座標
- 存在領域最小 Y 緯度 座標
- 存在領域最大 X 経度 座標
- 存在領域最大 Y 緯度 座標

を追加しました。

#### 属性転記 オプション

[属性]-[ポイントからの属性転記] (コマンド: AttrFromPnt)で、「1つのポイントからの複数 要素への転記を許容する」オプションを追加 しました。

ポイントの属性を周辺のアーク、ノード、ポイ ント(別レイヤ)などへまとめて転記する事が できます。

ボイントからの属性転記	×					
転記元レイヤ	🖌 ок					
転記先レイヤ 🛄 路線	1 キャンセル					
転記先要素 ◎ アーク ○ ノード ○ ポリゴン ○ ポイント	NI7					
近傍許容値 図上 0.16 🧾 mm 🛛 🗐 m (実長)						
▼ 1つのポイントからの複数要素への転記を許容する						
┌─ キイマッチオプション						
ポイント側 鉄道区分 🔽 転記先側 鉄道区分 🔽						
「転記属性						
転記元         転記先						
1 鉄道区分 なし 2 事業者種別 なし	全て「なし」					
3 路線名 なし	全て「新規」					
5 RA 20						
▶ 選択されているポイントのみを転記元とする						
▶ 選択された要素のみを転記先とする						
□ 転記元ポイントで、転記されなかった要素を選択状態にする						
□ 転記先で、転記されなかった要素を選択状態にする						

#### ポリゴン生成 オプション

[編集]-[ポリゴン生成] (コマンド: PolTrace) で、「微小ポリゴンを検知しない」 オプションを追加しました。このチェックが ON の場合、微小ポリゴンを無視して処理を 実行します。

処理モード	
<ul> <li>構造化ポリゴン(P)</li> </ul>	
○ 1 アーク 1 ポリゴン	<b>ユ</b> キャンセ
対象アーク	🙀 ヘルプ
すべてのアーク( <u>A</u> )	7181
○ 選択されているアーク(S)	
オプション	
□ アークのダブリ、交差検査(C)	
□ エラーがあっても続行(E)	
└── 行き止まりアークは無視する(工)	
☑ 微小ボリゴンを検知しない	
▶ 現在のエラーフラグを一旦クリアーする(生)	
▶ ポリゴン中心点を作成する(医)	
□ 作成した中心点を固定する(E)	

	$\frac{\mathbf{I}}{\mathbf{I}}$
作図時の座標指定 オプション [作図]-[アークの追加]、[作図]-[ポイント処理 (追加)]時に改行キイを押すと表示される[座標 指定]ダイアログボックスで、「方向角と距離」 からも指定できるようになりました。	はじめに ヨーシステム機能 ヨーイメージデータ
カラー選択ダイアログボックス	9 W
Ver.6では[ファイル]-[システム環境設定]- [操作]パネルにおいて「従来の標準タイプを 使用する」チェックがOFFの場合に限り[カ ラー選択]ダイアログボックスをできましたが、 Ver.7からはデフォルトで[カラー選択]ダイ アログボックスが表示されます。	N ベクタデータ
レント集 カラー選択ダイアログボックス http://www.mapcom.co.jp/support/hint/param/hint11.htm	マ データベース い
ダブリ点表示	解析機能
[ファイル]-[システム環境]-[システム環境 設定]-[表示と印刷]パネルに「表示時ダブリ ポイント描画抑制のしきい値(ピクセル)」が 追加されました。 大量のポイントがあるプロジェクトを小縮尺 で表示した時の描画時間を節約するのに有効	マニロ副機能
です。 <b>ヒント集</b> ダブリ点表示抑制 http://www.mapcom.co.jp/support/hint/param/hint8.htm	111-インポート
	13  エクスポート



#### 重畳(ちょうじょう)描画機能

[アークペンの設定]ダイアログボックスに、 「重畳描画機能」を追加しました。

同じレンジに複数のペン設定がある場合は、 まず、重畳描画設定が「なし」のものが描画 され、次の重畳描画設定が「1」、「2」と(あ れば)そのペンを使って、1つのアークを複 数回描画します。

これまで二重線などの複雑なアークペンスタ イルには、ベクタシンボルを登録し利用して いましたが、この「重畳描画」を使う事で、 アークペンの設定だけで描画を行えます。

重畳描画設定が「なし」のものが複数ある場合 は、描画されるのはどれか1つになります。



ヒント集 アークペン重畳描画設定

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/param/hint15.htm

#### ベクタシンボルの異方(縦横独立)サイズ変更

ポイントとノードの内部属性設定に関して、 「従描画」キイとして「文字サイズ型」を設定 できるようになりました。この設定があり、 有効な「文字サイズ型」データがある場合は、 その幅、高さに応じたベクタシンボルが描画 されます。



#### ポリゴン合併・分割一括処理



はじめに
Ⅱ一システム機能

Ш

イメージデータ

IV

**ベクタデータ** 

v

| データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

ーエクスポート

#### 「座標のゆらぎを収束させる」オプション(交点・ダブリアーク)

[編集]-[交点ノード生成、ダブリアーク削除]から「ダブリアークを削除するのみ」を 選択した場合、「アークをセグメントに分割 して再構成する」オプションに、「座標のゆら ぎを収束させる」オプションを追加しました。

ONの場合、指定されたしきい値(図面上の 値mm)程度のずれを吸収してダブリアーク 削除、微小ポリゴン削除処理を行います。

点生成・ダブリアーク削除					
処理の内容	🖌 ОК				
<ul> <li>ダガリアークを削除するのみ(E)</li> <li>アークをセグメントに分割して再構成する、やり直し(アンドウ)はできません</li> <li>「豆 昼橋のゆらぎを収束させる」しきい値(図面上)03 (nm)</li> </ul>	1 ++>セル 1 +>				
オプション					
□ 違択されているアーが聞のみを対象とする □ 違択されているアークと交差するアークを対象とする(S) □ 交点をノードにする領域を指定する					
同時(こ、処理するレイヤ(K) すべて選択(A) 3	オベて非選択(山)				

#### <u>ビューのハードコピー</u>(領域指定)

[編集]-[ビューのハードコピー(領域指定)] メニューを追加しました。現在のベクタ画面 上で、矩形(長方形)を指定し、その領域を クリップボードにコピーします。



#### 海部、無効領域の指定

標高メッシュプロジェクトの[編集]メニュー に、[海部、無効領域の指定]メニューを追加 しました。ダイアログで指定された範囲の標 高値を持つデータを海部、もしくは、無効領 域に指定します。

また、プロジェクトの[編集]-[格子ポイント から標高メッシュの生成]で、ダイアログで 指定された範囲の標高値を持つデータを海 部、もしくは無効領域に指定する機能を追加 しました。



-20000 [1] ~ -19999 標高メッシュデータの保存先

✓ 指定の標高値のデータを無効領域に指定します

#### [属性照会]-【このレイヤを前景に】ボタン

[属性照会]ダイアログボックスに【このレイヤ を前景に】ボタンを追加しました。

属性照会対象のレイヤを前景にします。



III-システム機能 III-イメージデータ IV-ベクタデータ V-テータベース VI-解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート

はじめに

#### パステキスト

[レイエキスパート]-[アーク]パネルに、「パス テキスト」チェックボックスを追加しました。

ONの場合で、表示対象となる内部属性があ れば、アークに沿わせる形で表示し、間隔も 自動調整されます。

文字列意外に付帯できる属性としては、フォ ント方(フォントとサイズ、影付け、輪郭 等)・回転角度型(アークに沿わせながら回 転を付加)に対応します。



アーク矢印

## 文字ボックス引き出し線のアーク矢印

[レイエキスパート]-[アーク]パネルに、「パス テキスト」チェックボックスを追加しました。

文字ボックスの引き出し線の矢印に関して、 ユーザー設定(アーク矢印方向)が使用でき るようになりました。

この場合、ユーザー設定側のレンジは0から 255のみ有効になります。 作成した画像の形状を参照しますが、pcm.ini

作成した画像の形状を参照しますが、pcm.ini ファイルに

#### [SystemEnvMgr]

ArcArrowOrgColor=1 を設定すると、元の色と幅を使うことができ ます。

また、「始点オフセット」パラメータを追加 し、この分オフセットしてから、引き出し線 を描画するようにしました。



#### TIN(三角形パッチ)と標高メッシュ



システム機能 川一イメージテータ N一ベクタデータ V コ

はじめに

II

データベース

解析機能

VШ

インポート

IX

エクスポート

#### アークの矢印型について

アークの矢印型について、線幅が有効なのは、線で描画される矢印で、画的に描画されるも のには無効ですが、「レンジ5」に関しては、指定の線幅が指定サイズの1/10である場合、 「線幅」が「厚み」になるようにしました。

※ただし、「サイズ」はおおよその見当であることに留意してください。

#### アーク補間点削除の仕様変更







#### 転記時の「アークから交差するアーク」の処理

[属性]-[属性転記(レイヤ間)]及び、[選択]-[選択 状態転記 (レイヤ間)]の「アークから交差する アーク」の処理に関して「解像度(分解能)程度の 交差許容地を見込む」オプションを追加しました。

交差判定において、座標系情報の高度な設定での 最高解像度に相当する程度の許容値を交差判定して (微妙なケースはより交差と判定されます)処理 されます。

42



Ш |イメージデータ IV ベクタデータ

はじめに

Ш

システム機能

V |データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

# V. データベース

#### 属性フィールドの権限

#### [ファイル]-[システム環境]-[アカウントリストの管理・更新] (コマンド: AccList)で作

成したアカウントレベル毎に、各フィールドに対し

- 表示権限:属性照会非表示・属性ウィンドウ非表示
  - 変更権限:セルをダブルクリックしても変更不可能
  - 実行・コピー権限 : エクスポート時の制限

を持った制御が行えます。 設定された権限レベル以下のアカウントでログインした 場合は、特定のフィールドを非表示にする、あるいは 変更できないようにするといった制御が可能です。

性フィールドの設定		2
7ィールド名(10) 住所	f	V OK
スタイル(S)		n ++)-111
文字型	▼ 左寄せ ▼	N17
		表示順序 最後尾 💌
		□ リレーション(B)
24 MTHEQ2	8h 12	□ IGC 対象(G) □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
		<ul> <li> <ul> <li></li></ul></li></ul>
<ul> <li>「195988000」</li> <li>「(文字列の場)</li> </ul>	1歳1648小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	□ 検索メニュー等非表示
	HTML記法	周性何与非表示
□ データペーフロック	_	
□ データベースリンク(	他フィールド参照)	マルチリンク表示
参照フィールド(日)		V
データベース(D)		Y
キイフィールド(ビ)		<b>v</b>
データフィールド(ビ)		<b>*</b>
□ 計算ノイールト	■ モード1書式	
式		>>
ロ ランギングフィールド		翌日時短期表示の対象
表示権限 権限ない	▼ 変更権限 権限な! ▼ □	ビー権限 権限な!、 マ
TREPARE V	THE ALL OF ALL O	1

はじめに

II

システム機能

Ш

イメージデータ

IV | ベクタデータ

V

データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

エクスポート

#### ジオコーディング機能(住所フィールドの分解・整形)

[ジオコーディング]-[住所フィールドの分解・整形] (コマンド: AddrSep) を追加しました。

街区レベル位置参照データをあらかじめ全国分 処理した専用のデータベース(※1)を使いなが ら、住所表記を解析して分解・整形します。

例えば「東京都中央区八丁堀2丁目20番1 号藤和八丁堀ビル3F」と「住所」フィール ドにある場合は、

都道府県	東京都
市、郡、東京特別区	中央区
区町村	
大字	八丁堀
小字、丁	2丁目
番地	20番
号(枝番)	1号
その他	藤和八丁堀ビル3F



のように分解されます。

「整形(正規化)後の住所」チェックがONの場合は、分解した上で「整形住所」フィールド に統一された記述の住所フィールドが新たに追加されます。

※1. 専用のジオコーディングデータベース「PcmGC.pgc」ファイルをpcm.exeと同じ フォルダに格納する必要があります。

※なお、このコマンドはベクタウィンドウがアクティブな場合は、そのときの前景レ イヤを参照して座標系が設定されます。また、データベースウィンドウがアクティブ な場合は、データの存在範囲から新たなレイヤとプロジェクトを生成します。

ヒント集

【ジオコーディング機能】住所フィールドの分解・整形 http://www.mapcom.co.jp/support/hint/data/hint32.htm





V

データベース

#### データベースの集計・統計処理

従来の[編集]-[集計]メニューを[編集]-[集計・統計処理](コマンド: DbCalc = Ver.6 と変わらず)として機能強化の上、変更しました。 合計 / 平均値 / 最大値 / 最小値に加えて、標 集計 [2] 行政コード 💌 🖌 ОК ☞ 第1キイフィールドの 準偏差 / 平均絶対偏差 / メディアンを算出でき A ++>UUL □ 第2キイフィールド(J) [9] @RenderCo ます。 □ 第3キイフィールドの [ 9] @Rer また、フィールドごとに集計処理でき、さら 処理するフィールド(M) 集計処理機能 ファクタ フィールト
▼ メディアン ▼ 使用しない に元のフィールドデータに乗ずるファクタ ノィールト [[7]公示価格(平均値) 価格(平均値) 価格(平均値) 価格(平均値) 🔛 追加 フィールドを指定できます。 -最最標平 P **商程6**分 また、ベクタメニューに新規追加された「ツー ル] - [領域検索・集計]の結果集計として直 ▼ 該当レコード数を集計する(C) 「 選択レコードのみを対象(S) 接開く事ができます。 □ 処理しないフィールドを残す(U)

結果出力データベース名(N) 集計

レコードの並び替

単身世:

#### ヒント集 集計·統計処理機能

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/data/hint24.htm

#### ソート(並び替え)・検索条件の保存

[レコード]-[レコードの並び替え](コマンド: RecSort)で、現在の設定をファイル(データ ベース並び替え設定ファイル\*.dbst)以外 に、そのDBの内部データとして最大10個 (SLOT1~10)まで「名前をつけて保存」 「設定を呼び出し」が行えます。

これに関して、メニューにないコマンド RecSortByName を追加しました。

- 【書式】RecSortByName厶<保存したパラ メータの名称> 【内容】 保存された並び替え条件を使って
  - レコードのソートを実行します



はじめに

П

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

ベクタデータ

V

データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート

X

-

 $[\nu \neg \neg \nu ] - [検索](\neg \neg \nu \nu ) : RecSearch)$ で、現在の設定をファイル(データベース検索 設定ファイル\*.dbsr)以外に、そのDBの内部 データとして最大10個(SLOT1~10)まで 「名前をつけて保存」「設定を呼び出し」が行 えます。

これに関して、メニューにないコマンド RecSearchByName を追加しました。 【書式】RecSearchByName厶<保存したパラ メータの名称>

【内容】 保存された検索条件を使ってレコード の検索を実行します



#### 「カラー型」フィールド カラーモード

「カラー型」のフィールドで、内部のカラーデータ構造をCMYKにするモードを追加しました。 CMYK モードのカラー型の場合、専用の CMYK 選択ダイアログボックスが表示されます。

#### 「BLOB (Binary Large Object)型」フィールド

フィールドのスタイルに「BLOB型」を追加しました。 1つのセルの中に1つまたは複数のファイルの 実体を格納できます(それだけの容量を必要 とします)。 BLOB型として設定されたセルをダブルク リックすると格納するファイルを指定できます。 Del+ダブルクリックでクリアー、エクスプロー ラからのドラッグ&ドロップも可能です。

「リレーション」チェックボックスと併用する 事で、実体のファイルをリレーション起動時の 一時フォルダに展開して実行する事ができます。 ※ Ver.7 より、描画パラメータの DB 化の 際はイメージやベクタシンボルは

BLOB 型フィールドに格納されます。



ヒント集

[フィールド型について] BLOB 型 http://www.mapcom.co.jp/support/hint/data/hint34.htm

#### BLOB データの展開

[編集]-[BLOB データの展開] (コマンド: ExpandBlob) を追加しました。 BLOB型として1ファイルにまとめられたデータを指定したフォルダに展開します。 ただしカレントレコードのみ、あらかじめレコードが選択されている場合は、それらの レコードをフォルダ内に展開します。

#### フィールド照合・転記

	[編集]-「フィールド昭合・転記]を追加しま	フィールドの照合・転記	
		キイとなるフィールド(5)	🖌 ок
	した。	[1] 文字罱性	n total
	2つのデータベース間で、指定したフィールド	照合・転記するフィールド(E)	🦗 /JIJ(B)
	が一致するかどうか照会し、その結果、相違	(1) 2 74012 (2) 740-74 (3) A (4) B	
	があれはその値を転記します。		すべて選択(合)
	キイやデータが一致しないレコードを照合のみ		すべて非選択( <u>B</u> )
	行う事も可能です(転記はせず、選択状態に	照合・転記するデータベース(①	
	します)。	キイとなるフィールド(L)	
	さらに、[参照されないレコードは新規のレ	■ カ + ケ + などの違いを無調する。	
	<b>コードとして転記する</b> ]オプションを追加し	<ul> <li>□照合するだけで、転記処理はしない</li> <li>☑ 照合で不一致のレコードを選択状態にする</li> </ul>	
	ました。	マタイがホーカテ明会・転用であり、レコードを選択状態にする 参照されないレコードは新規のレコードとして転記する	
ヒント	集 [フィールドの照合・転記]		

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/data/hint37.htm

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート

はじめに



EXCEL 保	 存時の変更			
	属性DBをEXCEL形式で保存する際、レコード を超える場合、警告メッセージが表示され、オス のみとして、先へ進めるようになりました。	数が 65535、または、フィー プションが選択できませんで	-ルド数が29 したが、警行	55 告
データベー	-スのグリッド表示			
	データベースのグリッド表示に関して、現在の セルがあるレコード番号とフィールド名表示 部分(ロウとカラム表示部分)をハイライト 表示するようにしました。		Dummy         का           0         10           0         15           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         5           0         10           0         10	

I はじめに

Ⅱ|システム機能

III イメージテータ IV ベクタテータ V データベース

VI 解析機能

と一日副業譜

111 インポート

**N** - エクスポート

# 計算フィールドの環境変数

計算フィールド	の環境変数を追加しました。
\$RAttr	・・・アークの内部属性 DB の場合、右ポリゴン ID
\$LAttr	・・・アークの内部属性 DB の場合、左ポリゴン ID
\$DegCente	rPos180
	・・・アークの内部属性 DB の場合、その中点での傾き -180 ~ 180 度で取得
trivel oft	立定列ナ側の空台 (人名土) ナゼリ 除てて
trimLett	・・・父子列左側の空白(主用も)を切り拾てる
uninkigni	・・・ 文子列左側の至日(王角も)を切り拾てる



# VI. 解析機能

#### 領域検索

[ツール]-[領域検索・集計](コマンド: AreaScan2)を追加しました。

従来からの[ツール]-[領域検索・通知](コマ ンド: AreaScan) に類似しますが、ポリゴン とのオーバーラップ率を計算して、「Overlap」 フィールドに代入するモードを新たに追加し ました。



また、処理後データベースウィンドウを開いて、[編集]-[集計・統計処理] (コマンド: DbCalc) を呼び出すオプションがあり、領域検索と該当データの集計処理を連続して行う事ができます。



#### <u>ランダムポイントからのメッシュ生成</u>



システム機能 Ш |イメージテータ |11 | ベクタテータ

T

はじめに

П

**V**|データベース

解析機能

VI





#### アーク縦横断解析



はじめに



#### 表示領域検索

[ツール]-[表示領域検索]項目を追加しました。

- 従来からの[表示領域の図郭コード等の算出]に加えて、
- ・[表示領域をGoogle Earthで閲覧](GoogleEarthがインストールされていることが前提) ・[表示領域をVirtual Earthで閲覧](インターネットで公開されているAPIを使用) → http://maps.live.com./

を追加しました。

#### Virtual Earth Mapパー





ヒント集 表示領域検索

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/vector/hint34.htm

NEW CONTRACTOR

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポート



#### ヒント集 表示領域検索

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/vector/hint34.htm

#### ポリゴン体積算出

[ツール]-[断面図・縦断図]に[ポリゴン体積 算出]を追加しました。

ポリゴンの下にある標高メッシュ、TINを参照 して、基準レベルからの体積を算出します。 いわゆる、切り土・盛り土・堆積量などの計算 に使われます。

緯経度座標系のデータにも対応しています (データの特性からくる制度的限界あり)。



T

はじめに

II

システム機能

Ш

|イメージデータ N | ベクタデータ

**V** | データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VIII

インポート

IX

エクスポート

#### 断面図生成時のZ値の案分計算

断面図の生成で、標高メッシュやTINがない領域のデータが従来は0になっていましたが、 データのある両端のZ値で案分計算して置き換えるようにしました(両端を直線で結んでい ます)。

#### OpneGLのアナグリフ



57

# VII. 印刷機能

#### はめ込み印刷



T

はじめに

II

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

ベクタデータ

**V**|データベース

VI

解析機能

VII 印刷機

能

VШ

インポート

IX

ーエクスポート

#### 印刷設定のファイル保存

[印刷]-[印刷設定登録・呼び出し](コマンド: PrintList)で、設定情報をファイル(印刷設定 ファイル\*.printinfos)として保存、ファイル読み込みが可能になりました。

また、フォルダ構造を持つ事もできますので、 印刷設定件数が多いプロジェクトでも情報の 管理が効率的に行えます。 また、複数のフォルダや設定情報を選択し、

まとめて変更できるようになりました。



#### ヒント集 印刷設定の登録・呼び出し

http://www.mapcom.co.jp/support/hint/print/hint7.htm

#### 印刷枠の設定

印刷枠設定後、[印刷]-[印刷枠調整]で改行 キイを押すと[座標指定]ダイアログボックスが 表示されますが、従来ここで行えるのは位置 指定のみでした。

Ver.7 からはさらに「サイズ」と「縮尺」を指定 できます。縮尺は直接分母を入力する事も できますが、ドロップダウンリストには一般的 に使用される縮尺が表示されます。

また、ユーザが任意に設定した < 縮尺 > や最 近使用した < 縮尺 > は履歴としてリストに追 加されます。

座標指定					X
● 直角座標	Х	-36000	γ	-6000	m m
C 経緯度座標		E0:00:00.000 N0:	00:00.00	0	~
○ ペーパー座標	Х	800	T Y	-600	🔝 mm
○ 左上位置	С	右上位置	C	)M図葉コード	"( <u>D</u> )
• 中央(:	齿置		JI	Sメッシュコー	۲×(_)
○ 左下位置	С	右下位置	🖑 L	n	キャンセル
サイズ ―――					
€ 直角座標	Х	1500	γ	2000	m 📓
C 経緯度座標			-		7
℃ ペーパー座標	Х	800	Y	600	🗾 mm
縮尺 1/2500	00		·		設定

#### ▲[印刷]-[印刷枠調整(出力サイズ固定)]の場合

座標指定		2
<ul> <li>● 直角座標</li> </ul>	× -33750	Y -7000 🗾 m
C 徭緯度座標	E0:00:00.000 N0:0	00:00.000
○ ペーパー座標	X 400	Y 300 📓 mm
○ 左上位置	○ 右上位置	DM図葉コード( <u>D</u> )
中央(	立置	JISメッシュコード(J)
○ 左下位置	○ 右下位置	🖑 L 🔼 4+2/2/
サイズ ーーーー		
● 直角座標	X 1500	Y 2000
○ 経緯度座標		<b>V</b>
○ ペーパー応捷	X loop	L Y Leon

▲[印刷]-[印刷枠調整(縮尺固定)]の場合

VII 印刷機能

VIII

インポート

**IX** エクスポート

#### はみ出し印刷



メッシュポリゴン印刷





エクスポート

はじめに

П

システム機能

Ш

イメージテータ

IV

|ベクタデータ

v

データベース

VI

解析機能

VII

印

刷機

能





# <u>VIII. インポート機能</u>

#### グレースケール画像形式のメッシュデータ

[ファイル]-[インポート]-[グレースケール画像形式のメッシュデータ](コマンド: ImportMesh)を追加しました。 8ビットまたは16ビットのグレースケール画像データを、メッシュデータとしてレイヤ にして取り込みます。 その後は、[レイヤエキスパート]-[メッシュ]パネルでデータとして[設定]-[レイヤ描画設定] 等各種の処理が行えますが、イメージデータとして読み込んだ場合と比較して、数倍以上 のメモリが必要となりますのでご注意下さい。

#### 数値地図 25000 (空間データ基盤) JPGIS 版

[ファイル]-[インポート]-[数値地図 25000 (空間データ基盤) [JPGIS 版]]を追加しました。 この新機能を使うには、軽量 XML コンポーネント

XMLLite.dll が必要です。このファイルは、Vista には標準 装備、または IE7 をインストールすると合わせてインス トールされます。

単独でインストールするには、Windows XP 用 XMLLite からダウンロードできます。

※ XmlLite.dll の動作環境に依存し、Windows2000 では、 このインポート機能は使用できません



▲ |システム機能 | Ⅲ | イメージテータ | Ⅳ | ベクタテータ | > | テータベース | Ⅵ | 解析機能

T

はじめに

VII

111 エクスポート

インポート







#### DMインポート

DMインポートに、「注記を別レイヤヘ」オプションを追加しました。これがONの場合、 注記(E7)レコード分は"(通常のレイヤ名)C"のレイヤに作成され、シンボルなどとは 別レイヤとされます。

VIII

インポート

IX

ーエクスポート

「「面」データをポリゴン化」オプションを追加しました。ONの場合、レコードタイプが E1(面)データに関しては、1アーク1ポリゴンとしてポリゴン化します。

# <u>IX. エクスポート機能</u>

## 属性データベース保存時オプション<u>としてのエクスポート</u>

データベースメニュー[ファイル]-[名前をつ けて保存]で、従来の保存形式(\*.ndv、 \*.ndvex)以外に、

- CSV(TXT)ファイル
- MDB(MS-ACCESS)ファイル
- XLS(Excel)ファイル
- DBF(DBASE)ファイル

への保存に対応しました。

[名前を付けて保存]ダイアログボックスの 〈オプション〉ボタンで、保存する種類に応 じたオプションの設定を行います。



#### 属性データベースのエクスポート

従来のDBメニュー[ファイル]-[エクスポート] (コマンド: Export)を廃止し、新たに [エクスポート]-[ADO でのエクスポート] (コマンド: ExportAdo) [エクスポート]-[ODBC でのエクスポート] (コマンド: ExportOdbc) [エクスポート]-[クリップボードへのコピー] (コマンド: ExportCb) [エクスポート]-[メタファイルへのエクスポート] (コマンド: ExportEmf) を追加しました。

特に[ADO でのエクスポート]、[ODBC での エクスポート]、[クリップボードへのコピー] では、保存対象とするフィールドをエクス ポート時に個別に指定できます。 これまで「出力したくないフィールド」は、 「ウィンドウ非表示」にしてからエクスポート のダイアログボックスで「ウィンドウ表示対象 フィールドのみ」オプションを選択する事で 対処していましたが、新しいメニューから実行 するとその必要がありません。

ODBC外部DBへのエクスポート	×
テーブル名 路線毎集計	🖌 ОК
<ul> <li>✓ データベースリンクがある場合、リンク結果を保存(L)</li> <li>         選択されているしコードのみ(S)         ✓ ウィンドウ表示対象フィールドのみ(M)         ✓ (小数板、接頭語など)表示されているとおりに(保存(L))     </li> </ul>	<ul> <li>キャンセル</li> <li>トレート</li> <li>トレート</li></ul>
<ul> <li>▼ エクスポートするフィールドを選択</li> <li>●[1] 路線名</li> <li>●[2] 公元価格(会計)</li> <li>●[3] 公元価格(年均値)</li> <li>●[4] 公元価格(最大値)</li> <li>●[5] 公元価格(最小値)</li> <li>●[6] Count</li> </ul>	 チェックオン  すべてオフ
- この設定の"名称" 設定を保存 >> 設	定を呼び出し >>

また、エクスポート時のダイアログボックスで設定した情報に名前を付け、プロジェクト に登録される「SLOT(1~10)」や別ファイル(DBエクスポートオプション \*.dbexop)に保存し、呼び出す事もできます。

IX

エクスポート

はじめに

П

システム機能

Ш



はじめに

II

システム機能

Ш

イメージデータ

IV

|ベクタテータ

v

データベース

VI

解析機能

VII

印刷機能

VШ

インポート

IX

エクスポ

I F

68





## MIF/MID (MapInfo) フィールド名の整合調整

[ファイル]-[エクスポート]-[MIF/NUD (MapInfo)]で、フィールド名の整合調整を行うように しました。

すなわち同一フィールド名がある場合は、、\_、を追加します。フィールド名に記号類がある場合や、先頭が数字の場合はこれを、、」、に置き換えます。

#### ヒント集 MapInfo(MIF)フォーマットのエクスポート http://www.mapcom.co.jp/support/hint/export/hint6.htm

|インボート || エクスポート

VIII